

## 2011年度 土佐生物学会プログラム

学会長挨拶 9:20

セッション1 (座長：砂長毅)

1. (9:25~9:40) ミサキマメイタボヤの加齢を抑制する遺伝子群  
○塩原幹也 (高知大・理・海洋生命)
2. (9:40~9:55) ミトコンドリアゲノムの比較による宝石サンゴの系統解析  
○宇田幸司<sup>1</sup>, 米田悠佑<sup>1</sup>, Riccardo Cattaneo-Vietti<sup>2</sup>, Giorgio Bavestrello<sup>3</sup>, Marco Giovine<sup>2</sup>, 藤田敏彦<sup>4</sup>, 岩崎 望<sup>5</sup>, 鈴木知彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>高知大・理・海洋生命, <sup>2</sup>Università di Genova, <sup>3</sup>Università Politecnica delle Marche, <sup>4</sup>国立科学博物館, <sup>5</sup>立正大)
3. (9:55~10:10) 猛禽類における薬剤耐性食中毒原因菌汚染とその経路について (予報) ~傷病保護されたトビの1例をもとに~  
○早川大輔<sup>1</sup>, 池田裕計<sup>1,2</sup>, 吉澤未来<sup>1</sup>, 山崎博継<sup>1</sup>, 渡部 孝<sup>1</sup> (<sup>1</sup>わんぱーくこうちアニマルランド, <sup>2</sup>現：桐生が岡動物園)
4. (10:10~10:25) 肝吸虫の物語  
○熊澤秀雄 (高知大・医・寄生虫)
5. (10:25~10:40) 西日本に生育する低地性二倍体タンポポの形態的特徴 II  
○和食敦子<sup>1</sup>, 藤川和美<sup>2</sup>・鈴木武<sup>3</sup>・芹沢俊介<sup>4</sup> (<sup>1</sup>高知大・院・総合人間自然科学, <sup>2</sup>高知県立牧野植物園, <sup>3</sup>兵庫県博, <sup>4</sup>愛知教育大・生物)

||||| 休憩 (10:40~10:50) |||||

セッション2 (座長：宇田幸司)

6. (10:50~11:05) ニホンジカの摂食剥皮害による落葉広葉樹天然林の衰退状況  
○奥村栄朗<sup>1</sup>, 酒井 敦<sup>1</sup>, 奥田史郎<sup>2</sup>, 伊藤武治<sup>1</sup> (<sup>1</sup>森林総研・四国, <sup>2</sup>森林総研・関西)
7. (11:05~11:20) 高知県中土佐町におけるニホンザル保護管理の現状と課題  
○葦田恵美子, 金城芳典 (四国自然史科学研究センター)
8. (11:20~11:35) 高知県四万十市におけるユビナガコウモリの人工洞利用状況  
○金川弘哉<sup>1</sup>, 谷地森秀二<sup>2</sup>, 谷岡 仁<sup>3</sup>, 美濃厚志<sup>4</sup>, 種田耕二<sup>1</sup> (<sup>1</sup>高知大・理・生物科学, <sup>2</sup>四国自然史科学研究センター, <sup>3</sup>自営業, <sup>4</sup>(株)東洋電化テクノリサーチ)
9. (11:35~11:50) コテングコウモリ *Murina ussuriensis* のねぐら確認及びトラップを用いた確認について  
○谷岡 仁 (自営業)
10. (11:50~12:05) 四万十市西土佐地区で確認されたユビナガコウモリとモモジロコウモリの育児洞  
○谷地森秀二<sup>1</sup>, 谷岡 仁<sup>2</sup>, 美濃厚志<sup>3</sup>, 金川弘哉<sup>4</sup> (<sup>1</sup>四国自然史科学研究センター, <sup>2</sup>自営業, <sup>3</sup>(株)東洋電化テクノリサーチ, <sup>4</sup>高知大・理・生物科学)

||||| 昼休み (12:05~13:00) |||||

シンポジウム『みんなで調べて記録しよう 鏡川の今（冬～春編）』（13:00~14:30）

||||| 休憩（14:30~14:40） |||||

セッション3（座長：伊谷 行）

11. (14:40~14:55) 浦戸湾産ヤドカリの住宅事情 IV ~雌雄で貝の好み異なるのはなぜか~  
岸本英里香, 高橋 瞳, 朝倉 修, 大野航輔, 大利卓海, 小原悠嗣, 松村 恭輔 (高知南高校・科学部)
12. (14:55~15:10) 高知城公園の野生生物  
○善万真珠<sup>1</sup>, ○槌谷美葉<sup>1</sup>, ○槌谷大作<sup>1</sup>, ○谷地森秀二<sup>2</sup> (<sup>1</sup>土佐女子高校, <sup>2</sup>四国自然史科学研究センター)
13. (15:10~15:25) 三嶺カヤハゲのコケ植物 ~分布を拡大するコケ植物とその役割~  
○山口敬大, 支倉航平, 松井 透 (高知大・理・生物科学)
14. (15:25~15:40) いの町里山地域の蘚苔類相  
○谷島麻美, 松井 透 (高知大・理・生物科学)
15. (15:40~15:55) 蘚類の配偶子嚢及び孢子体形成の季節変化 ~カタハマキゴケとヒジキゴケの孢子体形成~  
○石崎香那, 松井 透 (高知大・理・生物科学)

||||| 休憩（15:55~16:00） |||||

セッション4（座長：松井 透）

16. (16:00~16:15) 高知市前田川における沈水植物の被度の季節変化と年変動  
○山ノ内崇志<sup>1</sup>, 石川慎吾<sup>2</sup> (<sup>1</sup>高知大・院・黒潮圏, <sup>2</sup>高知大・理・生物科学)
17. (16:15~16:30) アメンボ科昆虫における高温耐性と過冷却点 (Super Cooling Point) の交差耐性 (Cross tolerance) について  
○井餘田航希, 関本岳朗, 大角裕貴, 白木隆士, 原田哲夫 (高知大・教育・環境生理)
18. (16:30~16:45) 高知県浦ノ内湾におけるマゴコロガイの成長  
○佐藤あゆみ<sup>1</sup>, 伊谷 行<sup>2</sup> (<sup>1</sup>高知大・院・教育, <sup>2</sup>高知大・教育)
19. (16:45~17:00) シベリアオオハシシギとオオハシシギ  
○田中正晴 (日本野鳥の会・高知支部)
20. (17:00~17:15) スケーリングと動物の大きさの限界  
○種田耕二 (高知大・理・生物科学)
21. (17:15~17:30) 西表島で得られた日本初記録のイサキ科魚類 *Diagramma melanacrum*  
○山川 武<sup>1</sup>, 朝岡 隆<sup>2</sup>, 原田邦生<sup>2</sup> (<sup>1</sup>高知市, <sup>2</sup>高知大・理)

|||||

総会 (17:35~17:55)

懇親会 (18:30~) 葉山 (はりまや町 1-6-1 中種アーケード街)